

サントリー天然水の森 近江

サントリーホールディングス 株式会社

場所: 滋賀県蒲生郡日野町

面積: 175 ha

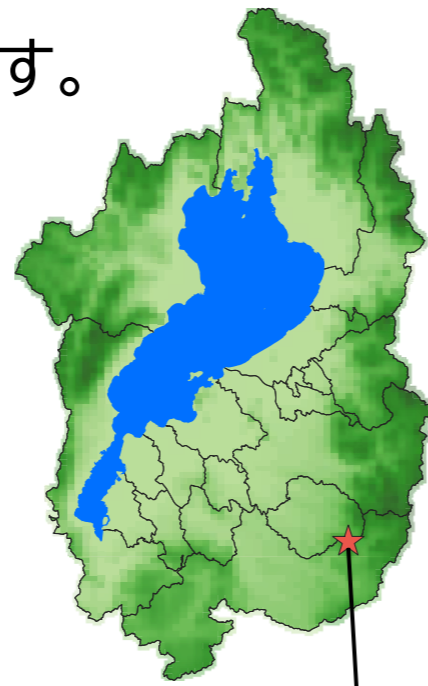
水と生命(いのち)の未来のために

生物多様性豊かな針広混交林を目指し、活動に取り組んでいます。



サイト概要

県南東部に流れる日野川の上流に位置する森林で、琵琶湖・淀川流域の水源涵養を担っています。サイト全域において人工林が広く分布し、自然性が高く、山地一帯が自然公園地域や鳥獣保護区に指定されています。



サントリー天然水の森

サントリーは、ほとんどすべての製品を良質な地下水=天然水で製造しています。ならば、その天然水の未来を守るのは当たり前ではないか。そんな思いから生まれたのが、「天然水の森」活動です。地下水を育む森づくりで一番大切なのは、降った雨を優しく受け止め、地下深くに導いてくれる健全な森林土壌を守り・育むこと。スポンジのように隙間の多い、フカフカで健全な森林土壌は、森に棲むあらゆる生命——植物や動物、土壌微生物など——すべての生命が力を合わせて作りあげてくれるものです。「天然水の森」では、放っておけば失われてしまう生命を減らすだけでなく、可能な限り多くの生命を再生することで、水の未来を守っています。

活動内容・地域等との連携 サントリー天然水の森 近江

人工林の間に残存する広葉樹林の要素を守り育てることで水源涵養機能や生物多様性の高い森を目指しています。また、綿向生産森林組合、滋賀県、日野町と「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を締結し、人工林の利用間伐などの管理に取り組んでいます。

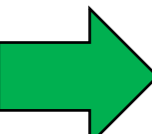
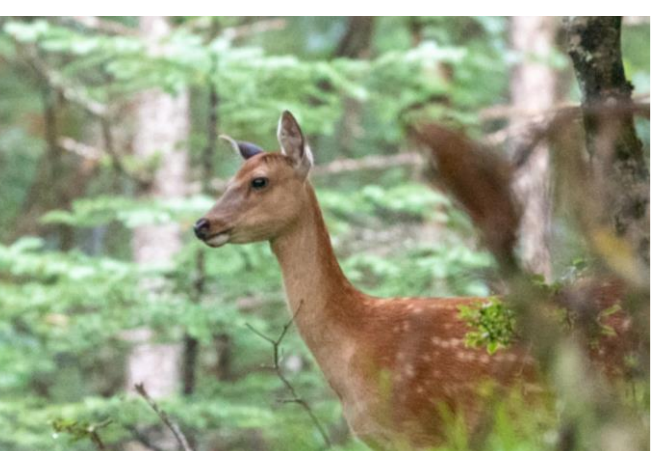


間伐木の利用



管理における課題【シカの採食圧】

森を管理するうえで最大の課題はシカによる草や低木の食害です。植生の保護や土砂流出を防ぐため、植生保護柵の設置やシカが好まない植物の植栽などに取り組んでいます。



対策



生物多様性の状況

スギ、ヒノキ群落が広く分布し、ハチクマやサシバなどの希少な猛禽類や、エナガ、ヤマガラ、コサメビタキなど多くの鳥類の生息が確認されています。



ネイチャーポジティブに向けてのメッセージ

サントリーは「水のコム」として、全国26カ所で「天然水の森」を設定し、活動を行っています。また、「天然水の森」のうち8カ所は自然共生サイトに認定され、単一企業としては最多となっており、国際目標である「30by30」目標の達成に大きく協力しています。

サントリー 天然水の森 全国 16都府県 26カ所 対象面積 約 12,000ha (2024年8月時点)

<ul style="list-style-type: none"> 東京大学 犬山研究林プロジェクト 約275ha あいち犬山 約7ha ● 近江 約191ha ● きょうと西山 約193ha ● 西山森林整備推進協議会*1 約353ha ● おおさか島本 約21ha ● 天王山 約1,056ha ● ひょうご西脇門柳山 約495ha ● 奥大山 約420ha ● 阿蘇 	<ul style="list-style-type: none"> ● きふ東白川 約631ha ● 北アルプス 約441ha ● 子持山 約5ha ● ● 赤城 約1,310ha ● ● 日光霧降 約154ha ● 勢多農林高校の森プロジェクト 約79ha ● 栃木 約72ha
<ul style="list-style-type: none"> ● きょうと南山城 約870ha ● 南アルプス 約2,027ha ● ● しずおか小山 約162ha ● 多摩源流小菅 約102ha 	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京大学 奥多摩演習林プロジェクト 約2,502ha ● 東京農業大学 秩父演習林プロジェクト 約116ha ● ● とうきょう秋川 約81ha ● ● 奥多摩 約67ha ● ● とうきょう檜原 約96ha ● 丹沢 約577ha

● 自然共生サイト